

裏面白紙

宮内省

裏面白紙



陸軍技師從五位勲三等西田明則
以下三百四十七名叙位ノ件
右謹テ奏ス

明治三十五年十月十四日

内閣總理大臣伯爵桂太郎

内

閣

明治廿五年十月 日

内閣書記官

内閣總理大臣



内閣書記官長



陸軍技師從五位敷三等西田明則以下三百四十七名叙位進階内則第二條ニ依リ叙位ノ件

内閣

從五位敷三等西田明則	全
敷四等田丸税稔	全
敷五等末弘巖石	全
中隈敬藏	全
大島誠治	全
叙正五位	

正六位 青木磐雄

人

合

合

合

合

人

合

合

合

全

正

合

全

全

人

全

山

全

人

全

36

欽正六位

正

十

位

山田登代太郎

全

黑金泰義

合

敷六等五十嵐佐清

正

正七位 勲六等 池田 音次郎

合

小山已熊

全

小野瓢郎

合

敷六等長友安孝

今

針谷重懋

合

神野勝之助

今

敷六等久保松次郎

合

武內順次

全

鈴木賢吉

全

可野長故

38

人

全

山田三良

全

敷六等興津辰矩

全

山川

全

今并考三郎

全

本間義次郎

菊池壽人

全

須藤傳次郎

合

文學博士 建部 遇 五

人全

佐藤清明

全

熏力等市川每夫

正

十

位

谷三郎

全

伊藤定弘

人

敷六等田中久男

合

今橫山愛吉

合

松野千勝

全

橫井實郎

全

吉野又四郎

八全

曲尾厨二郎

人

遠武勇能

叙從六位

訂 正

訂正理由	撮影ミスの為
訂正箇所	直前の / コマ取消 / コマ再撮影
訂正年月日	平成 20 年 10 月 17 日
このフィルムは、上記の理由で取消又は再撮影し訂正しました。 撮影者 川口 亜樹 (印) 受託責任者 東京都港区西麻布2丁目26番30号 富士フィルム株式会社 産業機材部長 後藤 佳久 (印)	

叙從六位

全

全

山田三良

全

敷六等興津底矩

全

山川信次郎

全

今井孝三郎

全

本間義次郎

三

菜池壽人

全

須藤傳次郎

全

文學博士 建部 遜 吾

人全

佐藤清明

市川 每夫

正

十

位

谷三郎

全

伊藤定弘

全

敷六等田中久男

合

橫山愛吉

合

松野千勝

全

横井實郎

全

吉野又四郎

全

由尾厓二郎

遠近莫不

18

全

山田三良

勲六等

興津辰矩

全

山川信次郎

全

今井彦三郎

全

本間義次郎

全

菊池壽人

全

須藤傳次郎

全

文學博士 建部遯吾

全

佐藤清明

全

勲六等 市川繁夫

正

七

位

谷三郎

全

伊藤定弘

全

勲六等 田中久男

全

横山愛吉

全

松野千勝

全

横井實郎

全

吉野又四郎

全

曲尾辰二郎

全

遠武勇熊

叙從六位

十月廿三日
寺澤清

從七位勲七等鹽川太郎

堀内秀太郎

中川守格

齋藤繁樹

大道寺一善

今
敷六等安藤德明

湯地考二

佐藤運平

秋山直三

庵原文一

從七位掃原與作

全
勲六等 桑原忠次郎

全
茂
玉
城

龍川要政

今
宮越正良

宇都宮寛

今
敷六等秋山
峻

今
今
宮原忠正

竹林保太郎

全

茂泉敬孝

41

川上雅量

欽正七位

鈴木豊治
田中西熊

正八位 細川源三郎
安藤安

鈴木仙次郎

高畠貞彪

早川繁雄

関澤高功

宇野東風

正八位 横井琢磨

安藤忠義

青柳良介

高田善次郎

豊田四郎

別府八百衛

小山田銓太郎

柳田新治

敷六等 矢野友也

霜島亀太郎

全 勲六等 秋山甫一郎

全 阪田八十郎

全 濫川柳次郎

全 小杉敬作

全 勲七等 細谷五郎

全 佐原寅三郎

全 小林砂吉

全 岩橋良藏

全 勲六等 河内貞藏

全 兒玉錦平

正 八位 服部正明

全 山口辨太郎

全 松尾哲太郎

全 内田新也

全 高石庫治

全 石川良道

全 作間餘三郎

全 上田文可

全 如藤亮一

全 武内梅吉

水谷洗五郎
石田勝次郎
高橋重作
坪井逸次郎
村上喜知藏
青羽為三
伊藤政重
三橋市太郎
山田常太郎
山口貞昌
大知新太郎
黒瀬亮一
相良維男
岡本幸次郎
篠原泰助
森川源吾
渡邊鈴衛
宮重左馬吉
内藤諒太郎
梅影 馨

水谷洗五郎
石田勝次郎
高橋重作
坪井逸次郎
村上喜知藏
青羽為三
伊藤政重
三橋市太郎
山田常太郎
山口貞昌
内
大知新太郎
黒瀬亮一
相良維男
岡本幸次郎
篠原泰助
森川源吾
渡邊鈴衛
宮重左馬吉
内藤諒太郎
梅影 馨

45
十二月四日達濟

澁谷有孚

福原秀郎

堀越充三

柳原正

諸隈元次郎

勝井喜藏

加来竹次郎

山森平成

伊東剛太

岡崎熊三郎

内

三野莞爾

寺川三藏

北本欽吉

河井常吉

森章三郎

柴崎織三

藤村健一郎

太田彌一郎

細見重喬

三澤清太郎

熟 八 等

村止 清
篠田嘉一郎
長瀬健藏
臼井武松
吉武橘次郎
矢田由之助
濱口管六郎
有竹雅巳
大澤唯治郎
小野政太郎
酒見忠勢
川村大吉
佐藤義道
島倉龍治
菅友次郎
小島愛三郎
中西徳五郎
峰村祐三郎
野本半三郎
尾佐竹 猛

道前 彰
藤川悦太郎
吉田敬一
奥田勝太郎
林 賢之助
岡田 榮
松本正寛
藤田和孝
荒井確治
三宅良一

48

道前 彰
藤川悦太郎
吉田 敬一
奥田勝太郎
林 賢之助
岡田 榮
松本正寛
藤田和孝
荒井確治
三宅良一

48

十五日
亥
達
海

幸田 幸
島崎 赤太郎
横山 正夫
市川 之雄
田澤 謹吾
島村 他三郎
溝口 三始
久門 雄二
矢内 信讓
谷 直諒

叙從七位

仲村幾夫
青井鉞男
國行敬道

宮尾泰利

安藤時藏

松永篤

橋本卯兵衛

今井保一郎

土居茂樹

内

佐々木沖太郎

曲木光弼

河野隆性

熊井武美

小林定修

中川昂實

池内源七

安倍梶太

松井昇

永井英夫

敏正八位

竹内 寛

川口 雄朗

江守 虎太郎

小山 音次郎

高木 惣夫

木村 本次郎

小関 三平

内閣

山本ト改世

50

欽正八位

竹内 寛

川口 雄朗

江守 虎太郎

小山 音次郎

高木 惣夫

木村 本次郎

小関 三平

内閣

山本ト改姓

50

めくれず

裏面白紙

第一三〇號

陸軍技師西田明則以下四十名叙位三件ヲ進達ス

明治三十五年九月一日

陸軍大臣寺内正毅

内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

陸軍省

めくれず

別紙陸軍技師西田明則以下四十一名現位：叙セラレ以来
五年以上勤勞不尠候ニ付文武官叙位進階内則第二條
依テ各位一級ヲ進メラレ度
謹テ奏ス

明治三十五年九月一日

陸軍大臣 寺内正毅



陸軍省

52

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
<http://www.jaarc.go.jp>

一五七

公使館一等通譯官鹽川一太郎、叙位、儀
別紙ノ通上奏致候間、可然御取計相成度
此段申進候也

明治三十五年九月二日

外務大臣男爵小村壽太郎

内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

外務省

公使館一等通譯官鹽川一太郎へ別紙ノ通叙
位被仰付度此段謹テ奏ス

明治三十五年九月二日

外務大臣男爵小村壽太郎



外務省

進階

正七位

明治三十四年六月十日
叙後七位

明治三十五年七月二十八日
任公使館一等通譯官(兼書記官等)

從七位勳七等鹽川一太郎

外務省

内務大臣 田第四九五號

別紙 栗原幹外一名 叙位ノ件
上奏書進達ス

明治三十五年八月一日

内務大臣男爵内海忠勝



内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

内務省

裏面白紙

正六位

廿年七月十日
敘進六位

滿五年以上

廣島縣安藝郡長湊六位勲五等 栗原幹

正六位

廿年七月十日
敘進六位

滿五年以上

廣島縣御調郡長湊六位勲五等 中尾心名

右多年奉職勤勞不貳者付敘位進階内則第二
條依各頭書通位一級進ノレ度謹テ奏ス

明治三十五年八月一日

内務大臣男爵内海忠勝



内務省

内務省
甲第 二〇四號

別紙 深瀬和直外一名 欽位
上奏書進達ス
ノ件

明治三十五年八月十六日

内務大臣男爵内海忠勝



内閣總理大臣伯爵桂 太郎殿

内務省

裏面白紙

正六位

廿年七月十日
敘正六位

滿年以上

大坂府南河内郡長湊村役勤等 深瀬和貞

從六位

廿七年正月
敘正六位

滿年以上

愛知縣南設樂郡長湊村役勤等 針谷重懋

右多年奉職勤勞不尠者、付敘位進階内則
第二條ニ依り各頭書、通位一級進ノラレ度謹
テ奏ス

明治三十五年八月十六日

内務大臣男爵内海忠勝



内務省

裏面白紙

明治三十五年八月廿六日

別紙
上奏書進達

明治三十五年八月廿六日

欽
位

ノ
件

内務大臣男爵内海忠勝



内閣總理大臣伯爵桂 太郎殿

内務省

從六位

廿年八月二十日
敘正七位

滿年以上

新潟縣南蒲原郡長岡位勲等卒嵐佐清

石多年奉職勤勞不貳者。付敘位進階内則第二

條ニ依リ頭書ノ通位一級進ノミレ度謹テ奏ス

明治三十五年八月廿八日

内務大臣男爵内海忠勝



内務省

めくれず

裏面白紙

内務大臣 甲第四九七

別紙青月木般石雄外々名教位
上奏書進達ス

ノ件

明治三十五年八月八日

内務大臣男爵内海忠勝



内閣總理大臣伯爵桂 太郎殿

内務省

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
<http://www.jahc.go.jp>

明治三十五年八月八日

豆

内務大臣男爵内海忠勝



内務省

内務大臣
甲第四九八

別紙作間餘三郎外四名 叙位
上奏書進達ス
ノ件

明治三十五年八月九日

内務大臣男爵内海忠勝



内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

内務省

從七位

三十五年七月九日
任大坂府技師

(七等官)

作間餘三郎

正八位

三十五年七月九日
任奈良縣技師

(八等官)

橋本弁兵衛

正八位

三十五年七月九日
任山梨縣技師

(八等官)

今井保一郎

正八位

三十五年七月九日
任石川縣技師

(八等官)

土居茂樹

正八位

三十五年七月九日
任千葉縣技師

(八等官)

佐々木沖太郎

右敘位進階内則第二條依り各頭書通敘位せし度

謹ヲ奏ス

明治三十五年八月九日 内務大臣男爵内海忠勝



内務省

内務大臣
官房
甲
四九
九
號

別紙安藤安
上奏書進達ス

叙位
ノ件

明治三十五年八月九日

内務大臣男爵内海忠勝



内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

内務省

裏面白紙

68

從七位

廿五年三月廿二日
敘正八位

三十五年七月九日
任靜岡縣技師
三十五年七月九日
敘高等官七等

正八位

安藤

安

右敘位進階内則第二條、依り頭書、通位一級

進メラレ度謹テ奏ス

明治三十五年八月九日

内務大臣男爵内海忠勝



内務省

内務大臣 甲第 五〇三 彈

別紙 曲木 光弼 外三名 叙位 一件

上奏書進達ス
明治三十五年八月十五日

内務大臣男爵内海忠勝



内閣總理大臣伯爵桂 太郎殿

内務省

裏面白紙

71

正八位

三十五年七月十四日
任秋田縣由利郡長

(二華宮)

曲木光弼

正八位

三十五年七月十四日
任秋田縣鹿角郡長

(二) 等官

河野隆性

正八位

三十五年七月十四日
任秋田縣雄勝郡長

一等宮

熊井武美

正八位

三十五年七月十四日
任秋田縣河邊郡長

人等官

小林定彦

右敘位進階內則第二條

依り各頭書、通敘

位セリ度謹テ奏ス

明治三十五年八月十五日

內務大臣男爵內海忠勝



內務省

内
臺甲第久久號

別紙臨時台灣土地調查局監督官高島貞彪敘進階ノ件
上奏書進達ス

明治三十五年八月十九日

内務大臣男爵内海忠勝



内閣總理大臣伯爵桂 太郎殿

内務省

後七位

明治三十四年七月十二日
任臨時臺灣土地調查局監督官八等官
叙正八位
明治三十四年七月十五日
陞叙高島等官七等

正八位高島貞彪

右叙位進階内則第二條ニ依リ頭書ノ通位一級進メラレ度謹テ奏ス

明治三十五年八月十六日 臺灣總督男爵兒玉源太郎



臺灣總督府

第五一〇號

別紙能谷善一郎外一名 敘位ノ件

明治三十五年八月廿五日

内務大臣男爵内海忠勝



内閣總理大臣伯爵桂 太郎殿

内務省

裏面白紙

75

從五位

廿三年二月十日
敕正六位

廿四年七月十日
任内務省参事官

〔四等官〕

正六位

熊谷喜一郎

從六位

廿三年十月二十日
敕正七位

廿五年七月十九日
任北海道廳支廳長
敕高等官五等

要位勲六等長友安孝

右敘位進階内則第二條ニ依リ各頭書ノ通位

一級進ノラレ度謹テ奏ス

明治三十五年八月二十五日

内務大臣男爵内海忠勝



内務省

明治三十五年八月廿九日

別紙臨時臺灣土地調查局監督官宮尾泰利敘任ノ件
上奏書進達ス

明治三十五年八月廿九日

内務大臣男爵内海忠勝



内閣總理大臣伯爵桂 太郎殿

内務省

正八位

明治三十五年七月二十六日
任臨時臺灣土地調查局監督官
敘高等官八等

宮尾 泰利

右敘位進階内則第二條ニ依リ頭書ノ通敘位

セラレ度謹テ奏ス

明治三十五年八月二十六日

臺灣總督男爵兒玉源太郎



臺灣總督府

内閣文庫
甲第五一四

別紙 村松 鋏三外五名 叙位 一件

上奏書進達ス

明治三十五年 八月廿七日

内務大臣男爵内海忠勝



内閣總理大臣伯爵桂 太郎殿

内務省

裏面白紙

正七位	三十五年七月廿一日 任山梨縣技師	(六等官)	村松 鉄三
正七位	三十五年七月廿一日 任山梨縣技師	(六等官)	川上 雅量
正七位	三十五年七月廿一日 任岐阜縣技師	(六等官)	鈴木 豊治
從七位	三十五年七月廿一日 任岡山縣上房郡長	(七等官)	石川 良道
正八位	三十五年七月廿一日 任滋賀縣技師	(六等官)	安藤 時藏
正八位	三十五年七月廿一日 任奈良縣南葛城郡長	(六等官)	松永 篤

右敘位進階内則第二條ニ依リ各頭書通敘

位セシレ度謹テ奏ス

明治三十五年八月二十七日

内務省

内務大臣男爵内海忠勝



裏面白紙

御封
甲第五二五號

別紙
湯地
彦二
敏位
ノ件

上奏書進達
明治三十五年八月廿日

内務大臣男爵内海忠勝



内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

内務省

豆

五位

卅五年十月廿日
任青森縣技師
敘從七位
三十五年八月二日
任敘高等官六等

後七位 湯地彦二

右敘位進階内則第二條、依り頭書ノ通位一

級進メラレ度謹テ奏ス

明治三十五年八月三十日

内務大臣男爵内海忠勝



内務省

甲第 五三三

別紙 佐藤運平外四名敘位
上奏書進達ス
ノ件

明治三十五年九月四日

内務大臣男爵内海忠勝



内閣總理大臣伯爵桂 太郎殿

内務省

裏面白紙

正七位	廿三年十月十日 任新縣技師 廿三年八月二日 任欽高寺官六等	(七等官)	從七位	佐藤運平
正七位	廿三年十月十日 任國山縣技師 廿三年八月二日 任欽高寺官六等	(七等官)	從七位	秋山直三
正七位	廿三年十月十日 任國山縣技師 廿三年八月二日 任欽高寺官六等	(七等官)	從七位	庵原文一
正七位	廿三年十月十日 任國山縣技師 廿三年八月二日 任欽高寺官六等	(七等官)	從七位	柳原興作
從七位	廿四年七月廿日 任欽高寺官七等	(八等官)	正八位	鈴木仙次郎

内務省

右敘位進階内則第二條ニ依リ各頭書通位一級進ノル

度謹テ奏ス
明治三十五年九月四日

内務大臣男爵内海忠勝



内務省大 甲第五三二號

別紙 桑原忠次郎外七名 欽任
上奏書進達ス
ノ件

明治三十一年九月四日

内務大臣男爵内海忠勝



内閣總理大臣伯爵桂 太郎殿

内務省

裏面白紙

88

正七位 勲進七位

廿三年七月二日
任大坂府總督視
察
廿三年八月二日
任大坂府總督
廿三年七月三日
任大坂府總督
廿三年八月二日
任大坂府總督

(七等官)

從七位勲六等 桑原忠次郎

正七位 勲進七位

廿三年七月二日
任大坂府總督視
察
廿三年八月二日
任大坂府總督
廿三年七月三日
任大坂府總督
廿三年八月二日
任大坂府總督

(七等官)

從七位 篠玉城

正七位 勲進七位

廿三年七月二日
任大坂府總督視
察
廿三年八月二日
任大坂府總督
廿三年七月三日
任大坂府總督
廿三年八月二日
任大坂府總督

(七等官)

從七位 瀧川要政

正七位 勲進七位

廿三年七月二日
任大坂府總督視
察
廿三年八月二日
任大坂府總督
廿三年七月三日
任大坂府總督
廿三年八月二日
任大坂府總督

(七等官)

從七位 宮越正良

正七位 勲進七位

廿三年七月二日
任大坂府總督視
察
廿三年八月二日
任大坂府總督
廿三年七月三日
任大坂府總督
廿三年八月二日
任大坂府總督

(七等官)

從七位 宇都宮寛

廿三年八月二日
任大坂府總督

内務省

正七位 勲進七位

廿三年七月二日
任大坂府總督視
察
廿三年八月二日
任大坂府總督
廿三年七月三日
任大坂府總督
廿三年八月二日
任大坂府總督

(七等官)

從七位勲六等 秋山 峻

正七位 勲進七位

廿三年七月二日
任大坂府總督視
察
廿三年八月二日
任大坂府總督
廿三年七月三日
任大坂府總督
廿三年八月二日
任大坂府總督

(七等官)

從七位勲六等 宮原忠心

正七位 勲進七位

廿三年七月二日
任大坂府總督視
察
廿三年八月二日
任大坂府總督
廿三年七月三日
任大坂府總督
廿三年八月二日
任大坂府總督

(七等官)

從七位 竹林保太郎

右叙位進階内則第二條依各頭書通位一級進ノル度

謹テ奏ス

明治廿年九月四日

内務大臣男爵内海忠勝



内務省 甲第五三一號

別紙 濱田彦一郎外七名 叙位
上奏書進達ス
ノ件

明治三十一年九月四日

内務大臣男爵内海忠勝



内閣總理大臣伯爵桂 太郎殿

内務省

裏面白紙

正六位 三十二年十月十七日 任兵庫縣警部長 (正等官) 從六位 濱田彦一郎

正六位 三十二年十月十日 任大野縣技師 (正等官) 從六位 佐久間義三郎

正六位 三十二年十月十日 任青森縣書記官 (正等官) 從六位 脇本 彬

正六位 三十二年十月十日 任福岡縣技師 (正等官) 從六位 片田豊太郎

從六位 三十二年十月十日 任北海通運技師 (正等官) 正五位勲六等 池田音次郎

内務省

從六位 三十二年十月十日 任青森縣書記官 (正等官) 正七位 小山己熊

從六位 三十二年十月十日 任愛知縣技師 (正等官) 正七位 小野瓢郎

正七位 三十二年十月十日 任北海通運技師 (正等官) 從七位 茂泉敬孝

右敘位進階内則第二條ニ依リ各頭書、通位一級進

ノラレ度謹テ奏ス

明治卅九年九月四日 内務大臣男爵内海忠勝



大阪税関長正位勲六等曾我祐保
專賣局事務官上田文可
專賣局事務官中川鼎實
右官等相當、位階ニ叙セラレ度謹
上奏ス

明治三十五年九月十日

大藏大臣男爵曾禰荒助



大藏省

裏面白紙

進階

從五位

三十二年七月十日
叙正六位

明治三十五年八月二日
任大坂税関長(高等官三等)

曾我祐保、

大藏省

裏面白紙

初叙

從七位

正八位

明治三十五年八月五日
任寺賣向事務官並寺賣向鑑定官(高寺官七等)
全日

上田文可

中川鼎實

大藏省

裏面白紙

職第三九章

・高寺官叙位上奏 二通

如所執奏の如計 以て之

明治三十五年八月廿二日

大藏省大蔵省大蔵省

内閣総理大臣伯耆桂太中殿



大蔵省

大藏書記官正七位神野勝之助
那霸稅務管理局長從七位久世庸夫
青森稅務管理局長從七位高尾幸次
稅關事務官從七位蠟山長治郎
稅關鑑定官正八位早川繁雄
右官等相當ノ位階ニ叙セラレ度謹
上奏ス

明治三十五年八月廿日 大藏大臣男爵曾禰荒助



大藏省

進階

從六位	三十五年九月廿日 叙正七位	明治三十五年七月十二日 任叙高寺官五等(大藏書記官)	神野勝之助
正七位	三十四年四月廿日 叙從七位	明治三十五年七月七日 任那霸稅務公署理局長(高寺官六等)	久世庸夫
正七位	全	任青森稅務公署理局長(高寺官六等)	高尾幸次
正七位	全	明治三十五年七月十二日 任叙高寺官六等	蟬山長治郎
從七位	三十二年七月十日 叙正八位	任叙高寺官七等	早川繁雄

司稅官正八位關澤高功

右官等相當位ニ叙セラレシ以來滿五
年ヲ經過シ平素精勵勤勞歟ヲ
サルニ付位階進級相成度謹テ上奏ス
明治三十五年八月二十二日

大藏大臣男爵曾禰荒助



大藏省

裏面白紙

進階

從七位
三十年五月四日
叙正八位

滿五年

關澤高功

大藏省

位第一一三號

理事二官狀太郎以下四十七名叙位并進達ス
明治三十五年八月十五日

陸軍大臣寺内正毅

内閣總理大臣白根桂太郎殿

陸軍省

裏面白紙

別紙理事二官狀太郎以下四十六名文武官叙任進階内則第三條ニ
該當候其相當位ニ叙セラレ度
謹テ奏ス

明治三十五年八月十五日

陸軍大臣 寺内正毅



陸軍省

木
二
子
所

第一一四號

陸軍歩兵少佐今津利馬以下十二名叙停件ヲ進達ス

明治三十五年八月十五日

陸軍大臣寺内正

毅

内閣總理大臣伯爵桂 太郎 殿

陸軍省

裏面白紙

別紙陸軍歩兵少佐今津利馬以下十二名現位ニ叙セラレ以来五年以上
勤勞不替候ニ付文武官叙位進階内則第二條ニ依リ各位一級ヲ
進メラレ度
謹テ奏ス

明治三十五年八月十五日

陸軍大臣寺内正毅



陸軍省

陵 軍 道

第一二七

陸軍歩兵大尉来住幸慶以下三名敍位ヲ進達ス
明治三十五年九月一日

陸軍大臣寺内正毅

内閣總理大臣伯爵桂 太郎 殿

陸軍省

裏面白紙

104

別紙陸軍歩兵大尉来住幸慶以下三名文武官敍位進階内則第二
條該當候ニ付其相當位ニ敍セラレ度
謹テ奏ス

明治三十五年九月一日

陸軍大臣寺内正毅

陸軍省

正七位

明治三十五年七月十八日
陸軍歩兵大尉

從七位 勲六等

来住 幸慶

土屋 清己

香推 秀一

令

令

令 年七月三十一日

從七位

香

推

秀一

陸軍省

一三一

陸地測量師高橋文亮叙任件ヲ進達ス

明治三十五年九月一日

陸軍大臣 寺内正毅



内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

陸軍省

裏面白紙

107

陸地測量部陸軍歩兵部
右別紙履歴書一通明治廿九年三月廿四日現任叙々以来五年以上在職勤
勞不怠候ニ付又武官叙位進階内則第二將ニ依リ位一級ヲ進メ正七位
ニ叙セラレ度
謹テ奏ス

明治三十五年九月一日

陸軍大臣寺内正毅



陸軍省

履歴書

東京市牛込区牛込袋町二十五番地

東京府平民

陸地測量師陸軍歩兵少尉後任勲三等高橋文亮

明治廿三年十二月廿日

任陸地測量手に任官大等給上級俸

全 廿四年八月十日

官等被廢九級俸に換給

全 年十一月廿日

非職に余す

全 廿四年十二月一日

一年志願兵トシテ近衛歩兵第三聯隊に入隊

陸 軍 省

明治廿五年十月三十日

任陸軍歩兵二等軍曹

全 年全月全日

一年志願兵後満期

全 年十二月八日

復職に余す

全 廿六年十二月十三日

任陸軍歩兵少尉

全 年全月全日

豫備被仰付

全 年十二月廿七日

叙正八位

全 廿七年十二月廿八日

一給八級俸

全廿八年五月廿日

一任陸軍歩兵中尉

全 年十月十二日

明治廿八年戰役功依リ勲功等單光加賞及金百五拾圓ヲ授賜

全廿九年三月廿四日

一叙從七位

全三十一年十二月十日

一給七級俸

全三十一年十二月廿八日

一任陸地測量師叙高等官八等土級俸下賜

全 三十五年六月廿日

一叙高等官七等九級俸下賜

陸 軍 省

海軍第一二四號

如藤海軍中主計以下四名叙位ノ件
又武官叙位進階内則第二條ニ依リ
別紙上奏書進達ス

明治三十五年

八月十四日

海軍大臣男爵山本權兵衛



内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

海軍

純七位
全正八位
全右各頭書之通叙位セラレ度謹テ

明治三十五年八月十四日

海軍大臣男爵山本權兵衛

明治三十五年七月十四日
海軍中主計七等官
全

如藤亮一
武内梅吉
永井英夫
竹内寛

海軍



山本改

從七位

明治三十五年七月十四日
任海軍中計七等官

正八位

明治三十五年七月十四日
任海軍中計八等官

全

全

奏
右各頭書之通叙位セラレ度謹
テ

如藤亮一
武内梅吉
永井英夫
竹内寛

明治三十五年八月十四日

海軍大臣男爵山本權兵衛

海軍

山本ト改姓

112

明治三十五年八月二十九日

山岸海軍軍醫少監叙任ノ件文武
官叙任進階内則第三條ニ依リ別紙上
奏書進達ス

明治三十五年八月二十九日

海軍大臣男爵山本權兵衛



内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

海軍

正六位明治三十五年八月二十日 海軍軍醫監從五位下等山岸朝五郎
右頭書之通 敘位セラレ度 謹テ
奏ス

明治三十五年八月二十日

海軍大臣男爵山本權兵衛



海 軍

海軍大臣 一八〇

海軍教授田中酉熊敘任ノ件文武官叙
進階内則第二條ニ依リ別紙上奏書
進達ス

明治三十五年八月二十三日

海軍大臣男爵山本権兵衛

内閣總理大臣伯爵桂太郎殿



海軍

正七位
右頭書ノ

明治三十五年七月廿二日
任海軍教授(高等官六等)

通叙位

セラレ

度謹テ

田中 酉熊

奏ス
明治三十五年八月二十三日

海軍大臣男爵山本権兵衛

海 軍

海軍 第一百九十五號

主理相良維男敘位ノ件文武官敘位
進階内則第二條ニ依リ別紙上奏書
進達ス

明治三十五年九月十七日

海軍大臣男爵山本権兵衛

内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

從七位
右頭書

明治三十五年八月十五日
任主理(高等官七等)

相良維男

通敘位セラレ

度謹テ

明治三十五年九月十七日

海軍大臣男爵山本権兵衛

海軍

海軍第百九十七號

海軍教授細川源三郎敘位、件文武
官敘位進階内則第二條依別紙

上奏書進達

明治三十五年九月二十二日

海軍大臣男爵山本権兵衛

内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

海軍

從七位
右頭書

明治三十五年八月二十日
任海軍教授(高等官七等)

通敍位

セラレ

度謹

テ

細川源三郎

明治三十五年九月廿二日

海軍大臣男爵山本権兵衛



海軍

裏面白紙

司法省

司法省職壹第二四五八號上奏
右執奏有之度候也

三件

明治三十九年八月八日

司法大臣 野村浩将



内閣總理大臣 伯耆村左郎殿

高等官進位之儀ニ付上奏

從六位

明治三十九年七月

三重縣典獄官

河俣政幹

右文武官

叙位進階

内則

第二條

依リ

謹テ奏ス

明治三十五年八月八日

司法大臣 男爵 清浦奎吾



司法省

裏面白紙

司
法
省

司法省職壹第一四七七號上奏
右執奏有之度候也

壹件

明治三十五年八月十二日

司法大臣男青清浦奎



内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

123

高等官進位之儀ニ付上奏

正七位

明治卅五年七月二日
官福井縣典獄從七位勲六等

古野嵩央

同

岐阜縣典獄從七位 中村 襄

同

福島縣典獄從七位 三浦 貢

右文武官叙位進階内則第二條ニ

依リ謹テ奏ス

明治三十五年八月十二日

司法大臣男爵清浦奎五



司法省

裏面白紙

司
法
省

司法省職壹第一五〇四號上奏
右執奏有之度候也

壹件

明治三十五年八月十一日

司法大臣男爵清浦奎五



内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

司法省職掌第一五〇四號

從七位高等官初叙位之儀二付
明治廿五年七月九日
等官
檢事

上奏

坪井逸次郎

村上喜知藏

青我
為三

三橋市太郎

山田常太郎

山口貞昌

大知新太郎

黑漆 亮一

岡本幸次郎

司法省

蘇 籀
川 原
原 泰
吾 賦

渡和
邊川
鈴江
衛吾

宮重左馬吉

藤諒太郎

梅影香

福原秀郎

掘
越
充
三

柳原正

諸隈元次郎

勝井喜藏

良

めくねず

同同同同同同同同同同同同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

判判判判判判判判判判判判
事事事事事事事事事事事

島倉龍治
菅友次郎
小島愛三郎
中西德五郎
峰村祐三郎
野本半三郎
尾佐竹猛
道前彰
藤川悦太郎
吉田敬一
與田勝太郎
林賢之助
岡田榮

同

同

判事

松本正寛
二條依り

右文武官
謹奏

明治三十五年八月十一日
司法大臣男爵清浦奎

五



めくねず

裏面白紙

司法省

司法省職壹第一五二六號上奏
右執奏有之度候也

一件

明治三十五年八月二十日

司法大臣 男爵清浦奎吉

内閣總理大臣 伯爵桂太郎殿



一五二六

高等官進位之儀ニ付上奏

正五位明治三十五年七月廿日判事後五位勲四等田丸祝稔

同右文武官叙位進階内則第ニ條依

明^リ謹^テ奏^ス 明治三十五年八月二十日

司法大臣男爵清浦奎



司法省

裏面白紙

司
法
省

司法省職壹第一五〇三號上奏
右執奏有之度候也

壹件

明治三十五年八月十五日

司法大臣男爵清浦奎



内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

めくれず

司法省 職制第一五〇三號

高等官進位之儀ニ付上奏

從七位明治三十五年七月九日判事正八位服部正太郎

同七判事正八位山口辨太郎

右文武官叙位進階内則第二條ニ依リ

謹テ奏ス

明治三十五年八月十一日

司法大臣男爵清浦奎吾



司法省

132

裏面白紙

司
法
省

司法省職壹第一五五三號上奏
右執奏有之度候也

一件

明治三十五年九月二日

司法大臣男爵清浦金吾



内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

133

司法省 第五五三

正八位上初叙位之儀ニ付上奏
 右文官叙位進階内則第二條ニ依
 明^リ謹^テ奏^ス
 明治三十五年九月二日
 司法大臣男爵清浦奎吾



司法省

裏面白紙

司法省

司法省職壹第一五八號上奏
右執奏有之度候也

一件

明治三十五年九月二日

司法大臣男爵清浦金吾



内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

135

司法省職掌第一五六七號

高等官初叙位之儀
付上奏
從七位^明官^治初叙位之儀
判事藤田和孝
右文武官叙位進階内則第^二條依

明治三十五年九月二日

司法大臣男爵清浦奎吾



司法省

裏面白紙

司法省職壹第一六〇三號上奏壹件
右執奏有之度候也

明治三十五年九月十二日

司法大臣男爵清浦奎五



内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

高等官初叙位之儀ニ付上奏
 從七位明治三十五年八月官合判事荒井確治
 右文武官叙位進階内則第二條ニ依リ
 謹テ奏ス

明治三十五年九月十二日

司法大臣男爵清浦奎吾



司法省

裏面白紙

司法省

司法省職壹第貳七八號上奏
右執奏有之度候也

三件

明治三十三年八月七日

司法大臣男青木清浦



内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

司法省 第一七八號

高等官初叙位之儀ニ付上奏

從七位明治三十五年七月日 檢事 水谷洗五郎

右文武官叙位進階内則第二條ニ

依リ謹テ奏ス

明治三十五年八月七日
司法大臣男爵清浦奎吾



司法省

裏面白紙

司法省

司法省職壹第一五二ノ號上奏 一件
右執奏有之度候也

明治三十五年 八月二十日

司法大臣 野村清浦 全



内閣總理大臣 伯爵桂太郎 殿

司法省 一五三七號

高等官初叙位之儀ニ付上奏

從七位明治三十五年七月十日判事石田勝次郎

右文武官叙位進階内則第二條ニ依

リ謹テ奏ス

明治三十五年八月二十日

司法大臣男爵清浦奎吉



司法省

十二月四日達

142

司法省 一五三號

高等官初叙位之儀ニ付上奏
從七位^{明治三十五年七月十日}判事石田勝次郎
右文武官^{明治三十五年七月十日}叙位進階内則第二條ニ依

明治三十五年八月二十日

司法大臣男爵清浦奎吾



司法省

十月四日達濟

142

裏面白紙

司法省

司法省職壹第一五二四號上奏 一件
右執奏有之度候也

明治三十五年 八月二十日

司法大臣男爵清浦奎吉



内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

司法省 一五三四

高等官初叙位之儀ニ付上奏

從七位明治三十五年七月十五日 檢事 高橋重作

右文武官叙位進階内則第二條ニ依リ

謹テ奏ス

明治三十五年八月二十日

司法大臣男爵清浦奎



司法省

文部省
人事課
職田第八七〇號

別紙井上通泰外三十名敘位上奏
書及進達候也

明治三十五年八月六日

文部大臣理學博士男爵菊池大麓



内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

文
部
省

岡山醫學專門學校教授

敘從五位

正六位 井上通泰

明治三十五年六月二日陞敘 高等官三等

岡山醫學專門學校教授

敘從五位

正六位 高橋金一郎

明治三十五年六月二日陞敘 高等官三等

東京音樂學校長

敘從五位

正六位 渡邊龍聖

明治三十五年六月十二日陞敘 高等官三等

文部省

文部書記官

敘從五位

正六位 渡部董之介

明治三十五年六月十四日陞敘 高等官三等

第三高等學校教授

敘從五位

正六位 勲六等 玉名程三

明治三十五年六月二十日陞敘 高等官三等

京都帝國大學醫科大學教授

敘從五位

正六位 醫學博士 荒木寅三郎

明治三十五年六月二十五日陞敘 高等官三等

京都帝國大學理工科大學教授

岡山醫學專門學校教授

敘從五位

正六位 井上通泰

明治三十五年六月二日陞敘 高等官三等

岡山醫學專門學校教授

敘從五位

正六位 高橋金一郎

明治三十五年六月二日陞敘 高等官三等

東京音樂學校長

敘從五位

正六位 渡邊龍聖

明治三十五年六月十二日陞敘 高等官三等

文部書記官

文部省

敘從五位

正六位 渡部董之介

明治三十五年六月十四日陞敘 高等官三等

第三高等學校教授

敘從五位

正六位 勲六等 玉名程三

明治三十五年六月二十日陞敘 高等官三等

京都帝國大學醫科大學教授

敘從五位

正六位 醫學博士 荒木寅三郎

明治三十五年六月二十五日陞敘 高等官三等

京都帝國大學理工科大學教授

十月十六日達

敘從五位

正六位工學博士阿部正義

明治三十五年六月二十五日陞敘 高等官三等

東京帝國大學書記官

敘正六位

從六位丸山熊男

明治三十五年六月二日陞敘 高等官四等

東京帝國大學理科大学教授

敘正六位

從六位勲六等理學博士坪和為昌

明治三十五年六月二日陞敘 高等官四等

岡山醫學專門學校教授

敘正六位

從六位勲六等 佐藤直

文部省

明治三十五年六月二日陞敘 高等官四等

岡山醫學專門學校教授

敘正六位

從六位醫學博士桂田富士郎

明治三十五年六月二日陞敘 高等官四等

文部大臣秘書官

敘正六位

從六位田所美治

明治三十五年六月十四日陞敘 高等官四等

第三高等學校教授

敘正六位

從六位 穴戸一郎

明治三十五年六月二十日陞敘 高等官四等

京都帝國大學理工科大學教授

敘正六位

從六位工學博士小川梅三郎

明治三十五年六月二十五日陞敘 高等官四等

岡山醫學專門學校教授

敘從六位

正七位 荒木蒼太郎

明治三十五年六月二日陞敘 高等官五等

東京帝國大學法科大學教授

敘從六位

正七位勲六等法學博士松波仁一郎

明治三十五年六月五日陞敘 高等官五等

東京帝國大學法科大學教授

文部省

敘從六位

正七位法學博士小野塚喜平次

明治三十五年六月五日陞敘 高等官五等

東京帝國大學法科大學教授

敘從六位

正七位法學博士山田三良

明治三十五年六月五日陞敘 高等官五等

第一高等學校教授

敘從六位

正七位勲六等 興津辰矩

明治三十五年六月二十日陞敘 高等官五等

第一高等學校教授

敘從六位

正七位 山川信次郎

京都帝國大學理工科大學教授

敘正六位

從六位工學博士小川梅三郎

明治三十五年六月二十五日陞敘 高等官四等

岡山醫學專門學校教授

敘從六位

正七位 荒木蒼太郎

明治三十五年六月二日陞敘 高等官五等

東京帝國大學法科大學教授

敘從六位

正七位勲六等法學博士松波仁一郎

明治三十五年六月五日陞敘 高等官五等

東京帝國大學法科大學教授

文部省

敘從六位

正七位法學博士小野塚喜平次

明治三十五年六月五日陞敘 高等官五等

東京帝國大學法科大學教授

敘從六位

正七位法學博士山田三良

明治三十五年六月五日陞敘 高等官五等

第一高等學校教授

敘從六位

正七位勲六等 興津辰矩

明治三十五年六月二十日陞敘 高等官五等

第一高等學校教授

敘從六位

正七位 山川信次郎

十月廿三日
奉旨

明治三十五年六月二十日陞叙 高等官五等

第一高等學校教授

敘從六位

正七位 今井彦三郎

明治三十五年六月二十日陞叙 高等官五等

第一高等學校教授

敘從六位

正七位 本間義次郎

明治三十五年六月二十日陞叙 高等官五等

第一高等學校教授

敘從六位

正七位 菊池壽人

明治三十五年六月二十日陞叙 高等官五等

文部省

第一高等學校教授

敘從六位

正七位 須藤傳次郎

明治三十五年六月二十日陞叙 高等官五等

東京帝國大學文科大學教授

敘從六位

正七位文學博士 建部遯吾

明治三十五年六月二十五日陞叙 高等官五等

第五高等學校教授

敘正七位

從七位 下山秀久

明治三十五年六月二十一日任 高等官六等

第六高等學校教授

敘從七位

正八位 松尾哲太郎

明治三十五年六月二日陞敘 高等官七等

仙臺醫學專門學校教授

敘從七位

三宅良一

明治三十五年六月二日任 高等官七等

第三高等學校教授

敘從七位

正八位 内田新也

明治三十五年六月二十日陞敘 高等官七等

東京音樂學校教授

敘從七位

幸田 幸

文部省

明治三十五年六月二十一日任 高等官七等

東京音樂學校教授

敘從七位

島崎赤太郎

明治三十五年六月二十一日任 高等官七等

右謹テ奏ス

明治三十五年八月六日

文部大臣理學博士男爵菊池大麓



敘從七位

正八位 松尾哲太郎、

明治三十五年六月二日陞敘 高等官七等

仙臺醫學專門學校教授

敘從七位

三宅良一、

明治三十五年六月二日任 高等官七等

第三高等學校教授

敘從七位

正八位 内田新也、

明治三十五年六月二十日陞敘 高等官七等

東京音樂學校教授

敘從七位

幸田 幸、

文部省

明治三十五年六月二十一日任 高等官七等

東京音樂學校教授

敘從七位

島崎赤太郎、

明治三十五年六月二十一日任 高等官七等

右謹子奏、

明治三十五年八月六日

文部大臣理學博士男爵菊池大麓



十月十五日
奏

150

附第六

肥料礦物調査所技師鴨下松次郎叙俸件別
紙上奏書進達ス

明治三十五年八月十一日

農商務大臣男爵平田東助



内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

農商務省

江口商店製

151

叙正六位

明治三十五年七月二日
准叙高寺官四等

肥料礦物調査所技師農商務省技師任官五等賜下松次郎

右謹う奏ス

明治三十五年八月十一日

農商務省官房爵祿由東助

農商務省

江口商店製

圖第六四番

農商務技師松岡操外一名叙任件別紙
上奏書通達云

明治三十四年八月十九日

農商務大臣野村胡堂



内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

農商務省

江口商店製

157

叙正六位

明治三十五年七月六日
任叙高寺官四等

農商務大臣松岡操

後六位
要寺松岡操

叙從七位

明治三十五年七月六日
任農商務書記官高寺官七等

農商務大臣松岡操

後六位
要寺松岡操

右謹行

明治三十五年八月十九日

農商務大臣男爵中田東助



農商務省

閣下
八五
第

種馬所技師佐藤清明外二名叙任ノ件別
紙上奏書進達ス

明治三十四年八月二日

農商務大臣男爵平田東助



内閣總理大臣伯爵桂太郎敬

農商務省

叙従六位

明治三十五年五月二日
任叙高寺官五等

種馬所技師宅位佐藤清明

叙正七位

明治三十五年五月二日
任叙高寺官六等

種馬所技師宅位加藤陽三郎

叙従七位

明治三十五年五月二日
任農事試験場技師兼農商務省技師叙高寺官七等

横山正夫

右謹了奉文

明治三十五年八月一日

農商務大臣男爵平田東助



農商務省

關六六號

農商務書記官磯部正春外三名叙任件
別紙上奏書通達

明治三十五年八月一日

農商務大臣男爵中島久



内閣總理大臣伯爵桂太郎敬

農商務省

江口商店製

157

叙從五位
明治三十五年七月二日 農商務書記官農商務省 六位磯部春
 叙正六位
明治三十五年七月二日 農商務書記官農商務省 六位磯部春
 叙從七位
明治三十五年七月二日 農商務書記官農商務省 六位磯部春
 叙從七位
明治三十五年七月二日 農商務書記官農商務省 六位磯部春
 右謹テ奏ス

明治三十五年八月二日

農商務大臣男爵平田東助



農商務省

江口商店製

關保 亥

學林技師江守虎太郎外三名叙任外別紙
上奏書進達ス

明治三十五年八月廿六

農商務大臣野村胡堂



内閣總理大臣西園寺公望

農商務省

江口商店製

158

叙正八位
叙正八位
叙正八位
叙正八位
叙正八位
右謹テ奏ス

明治三十五年七月廿五日
任堂林技師叙高寺官八等
明治三十五年七月廿五日
任堂林技師叙高寺官八等
明治三十五年七月廿五日
任堂林技師叙高寺官八等
明治三十五年七月廿五日
任堂林技師叙高寺官八等
明治三十五年七月廿五日
任堂林技師叙高寺官八等

江守虎太郎
小山音次郎
高木松夫
木村次郎

明治三十五年八月廿六日

農商務大臣男爵平田東助



農商務省

四

閣下八二番

蚕業講習所技師古武橋次郎叙任外別紙上
奏書 通達

明治三十五年九月十五日

農商務大臣男爵中田東洋



内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

農商務省

叙從七位
右謹言

明治三十五年八月十五日
任左京講習所技師叙高寺官七位

古武橋次郎

明治三十五年九月十五日

農商務大臣 野村 浩平 出 東 助



農 商 務 省

162

官發第二四六三號

別席浦野喜三郎始四十名

進位ノ件上奏書進達ス

明治三十五年九月六日

逋信大臣子爵芳川顯正



内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

從五位	廿三年十月	三十五年七月十八日	(商船學校教授)	正六位	勲等	浦野喜三郎
從五位	廿三年十月	三十五年七月十八日	(商船學校教授)	正六位	勲等	松本安藏
從五位	廿三年十月	三十五年七月十八日	(通達技師)	正六位	勲等	宇都宮實一
從五位	廿三年十月	三十五年七月十八日	(通達技師)	正六位	勲等	石丸重美
從五位	廿三年十月	三十五年七月十八日	(通達技師)	正六位	勲等	岡田竹五郎
從五位	廿三年十月	三十五年七月十八日	(通達技師)	正六位	勲等	青木大三郎
從五位	廿三年十月	三十五年七月十八日	(通達技師)	正六位	勲等	片岡清四郎
從五位	廿三年十月	三十五年七月十八日	(通達技師)	正六位	勲等	梶浦重藏
正六位	廿三年二月	三十五年七月十八日	(通信技師)	從六位	勲等	中山信順
正六位	廿三年二月	三十五年七月十八日	(通信技師)	從六位	勲等	山田孝敏
正六位	廿三年二月	三十五年七月十八日	(通信技師)	從六位	勲等	山村清之助
正六位	廿三年二月	三十五年七月十八日	(通信技師)	從六位	勲等	岡村初之助
正六位	廿三年二月	三十五年七月十八日	(通信技師)	從六位	勲等	三野嘉吉郎
正六位	廿三年二月	三十五年七月十八日	(通信技師)	從六位	勲等	和達陽太郎
正六位	廿三年二月	三十五年七月十八日	(通信技師)	從六位	勲等	吉山魯介
正六位	廿三年二月	三十五年七月十八日	(通信技師)	從六位	勲等	市川繁夫
正六位	廿三年二月	三十五年七月十八日	(通信技師)	從六位	勲等	谷三郎
正六位	廿三年二月	三十五年七月十八日	(通信技師)	從六位	勲等	伊藤定弘

從六位 叙正七位 廿二年九月 三十七年七月十八日 陸高馬官五等 正七位勲五等 田中久男	從六位 叙正七位 廿二年十月 三十七年七月十八日 陸高馬官五等 正七位勲五等 横山愛吉	從六位 叙正七位 廿二年十月 三十七年七月十八日 陸高馬官五等 正七位 松野千勝	從六位 叙正七位 廿二年十月 三十七年七月十八日 陸高馬官五等 正七位 横井實郎	從六位 叙正七位 廿二年十月 三十七年七月十八日 陸高馬官五等 正七位 吉野又四郎	從六位 叙正七位 廿二年十月 三十七年七月十八日 陸高馬官五等 正七位 曲尾辰三郎	從六位 叙正七位 廿二年十月 三十七年七月十八日 陸高馬官五等 正七位 遠武勇熊	正七位 叙正七位 廿二年七月 三十七年七月十八日 陸高馬官六等 從七位勲五等 右近鐔三	正七位 叙正七位 廿二年七月 三十七年七月十八日 陸高馬官六等 從七位 角源泉	正七位 叙正七位 廿二年七月 三十七年七月十八日 陸高馬官六等 從七位 西脇吉久	正七位 叙正七位 廿二年十月 三十七年七月十八日 陸高馬官六等 從七位勲五等 安久津成雅	正七位 叙正七位 廿二年十月 三十七年七月十八日 陸高馬官六等 從七位 永見桂三	正七位 叙正七位 廿二年十月 三十七年七月十八日 陸高馬官六等 從七位 金重林之助	正七位 叙正七位 廿二年十月 三十七年七月十八日 陸高馬官六等 從七位 大塚踐吉	正七位 叙正七位 廿二年十月 三十七年七月十八日 陸高馬官六等 從七位 島崎直也	正七位 叙正七位 廿二年十月 三十七年七月十八日 陸高馬官六等 從七位 山中新太郎	正七位 叙正七位 廿二年十月 三十七年七月十八日 陸高馬官六等 從七位 酒井佐雄	正七位 叙正七位 廿二年十月 三十七年七月十八日 陸高馬官六等 從七位 月野正五郎	正七位 叙正七位 廿二年十月 三十七年七月十八日 陸高馬官六等 從七位 野村良一	正七位 叙正七位 廿二年七月 三十七年七月十八日 陸高馬官六等 從七位 太田光熙
---	---	--	--	---	---	--	---	---	--	--	--	---	--	--	---	--	---	--	--

從七位

廿五年正月 三十五年七月廿一日
叙正八位 任録道按察使 叙高等官七等

正八位 高石庫治、

右 謹

ヲ 奏 上

明治三十五年九月一日

逋信大臣子 露芳川 顯正



官 三〇六四號

別紙溝口三始始八名叙位ノ件上奏
書進達ス

明治三十五年九月六日

逋信大臣子爵芳川顯



内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

從七位	從七位	從七位	從七位	從七位	從七位	從七位	從七位	從七位	正八位
任錢道技師	任錢道技師	任錢道技師	任錢道技師	任錢道技師	任錢道技師	任錢道技師	任錢道技師	任錢道技師	任高船學校教諭
三十五年七月三十一日	三十五年七月三十一日	三十五年七月三十一日	三十五年七月三十一日	三十五年七月三十一日	三十五年七月三十一日	三十五年七月三十一日	三十五年七月三十一日	三十五年七月三十一日	三十五年七月二十八日
叙高等官七等	叙高等官七等	叙高等官七等	叙高等官七等	叙高等官七等	叙高等官七等	叙高等官七等	叙高等官七等	叙高等官七等	叙高等官八等
溝口三始	久門雄二	矢内信讓	谷直諒	仲村幾夫	青井鐵男	國行敬道	小關三平		

右謹了奏天久

明治三十五年九月六日

逕信大臣子爵芳川顯



検査官中隈敬藏曩に會計検査院部長
長高等官二等に叙任相成候に就て
ハ相當位に叙セラレ度謹テ上奏ス

明治三十五年八月十五日

會計検査院長法學博士男爵田尻稻次郎



會計検査院

明治三十五年七月九日
任會計検査院部長後高等官二等

検査官從五位勲五等中限敬藏

會計検査院

検査官従五位勲五等大島誠治

右者被 叙従五位候以来満五年ニ至リ勤
勞不尠ニ付叙位進階内則第三條ニ依
リ昇叙被 仰付度謹テ上奏ス

明治三十五年八月十五日

會計検査院長法學博士男爵田尻稻次郎



會計検査院

正五位

明治三十年四月三十日特旨より
叙従五位同年八月十四日任檢査官

五年

檢査官従五位勲五等大島 誠治、

會計檢査院

四八七〇號

岡山醫學專門學校教授井上通泰教授義
孝九月廿日書省大臣上奏相成候処同
人病来之日是官第有之長同位階進
級之儀多急進表相成候様清不招預
度此候乃清依親候也
明治三十五年十月十六日

文部省總務局人事課長田所美治

文部省總務局人事課長印

内閣書記官 清中

裏面白紙

甲八七。内

第一、高等學校を授山川信次郎叙
 位一件八月六日付より当省大臣
 上奏を奉り、同人の存年二十三
 歳、古くより学業に専心し、及
 び通達なり。

明治三十四年十一月廿七日
 文部省事務局長 岡田 啓介

内閣書記官 長 中

裏面白紙

174

裏面白紙

175

海軍少将 井内寛毅 佐ノ件
十ノ月廿日 海軍少将 第一 七四ノ三ヲ以テ工奏
主成居ノ事 今般 山本ト改姓ノ事 居
主ノ事 訂定ノ事 主ノ事 主ノ事 及
今ノ事

明治三十二年十一月三日
三浦武光 人
内閣書記官 主ノ事

二九八

判事石田勝次郎初叙位之儀本年
八月二十日職令第一七二七號
相成其要令叙位表差出知官ノ我
存日職令第二九八號 存日上奏相
於其大退官少叙位官ノ相成其
扱被下度其乃依其多ヤ
明治三十五年三月二日

司法省總務局
職次課長高橋文之助



内閣書記官

中

司法省

裏面白紙

位第之ニ〇號

別紙人名之者、叙位ノ件進達中ノ処各頭
書之通、勲位ニ異動有之候間此段及御通牒
候也

明治三十五年十二月二日

陸軍省人事局恩賞課



内閣書記官室

御中

陸軍省

進達月日異動事項			官位勲功	氏名
廿五年九月廿日	勲三等	陸軍步兵中佐正七位勲四等	小原正恒	
左 九月十六日	勲三等	陸軍步兵中佐正七位勲四等	村上正路	
左 九月一日	勲四等	陸軍二等軍医正七位勲六等	長江清人	
左 十月廿日	勲四等	陸軍步兵中佐正七位勲六等	太田榮次郎	
左 九月一日	勲四等	陸軍步兵少佐從六位勲五等	勝賀瀬元	
左 九月十六日	勲五等	陸軍輜重兵大尉正七位勲六等	川嶋榮治郎	
左 八月十五日	勲五等	陸軍砲兵大尉正七位勲六等	鈴木賢吉	
左	勲五等	陸軍砲兵大尉正七位勲六等	武内順次	
左	勲五等	陸軍步兵大尉從七位勲六等	橘 漸	
陸軍省				
廿五年九月一日	勲五等	陸軍步兵大尉正七位勲六等	澤井佳十郎	
左 九月廿日	勲五等	陸軍步兵大尉正七位勲六等	中原松之助	
左 九月十六日	勲五等	陸軍輜重兵大尉正七位勲六等	坂井三五郎	
左 九月一日	勲五等	陸軍步兵少佐從六位勲六等	鈴木 信	
左 八月十五日	勲五等	陸軍一等藥劑官正七位勲六等	渥美源一	
左	勲五等	陸軍步兵大尉正七位勲六等	久保松次郎	
左 九月十六日	勲五等	陸軍步兵大尉正七位勲六等	山口平吉	
左 九月一日	勲五等	陸軍步兵大尉正七位勲六等	伊東祐武	
左 八月十五日	勲五等	陸軍工兵大尉正七位勲六等	河野長敏	
左 十月十六日	勲五等	陸軍步兵大尉正七位勲六等	松田祐作	
左 十月十五日	勲五等	陸軍步兵大尉正七位勲六等	高津幾太郎	

裏面白紙

左	十月廿一日	勲五等	陸軍砲兵少佐樺太位勲五等功五級	石黒重三郎
右			陸軍歩兵大尉正七位勲六等	深野卯四重

陸軍省